

常陸太田市議会議長 高星 勝幸 様

常陸太田市議会

広報委員会 委員長 菊池 勝美

## 「常陸太田市議会報告・意見交換会」報告書

## 1. 日時・開催場所（開催日順）

水府地区：令和7年10月30日（木）午後6時30分から 水府総合センター  
金砂郷地区：令和7年10月31日（金）午後6時30分から 交流センターふじ  
常陸太田地区：令和7年11月4日（火）午後6時30分から 生涯学習センター  
里美地区：令和7年11月5日（水）午後6時30分から 里美文化センター

## 2. 報告・意見交換会対応議員

全地区	
高星 勝幸（議長） 菊池 勝美（副議長・広報委員長） 小室 信隆（文教民生委員長） 諏訪 一則（文教民生副委員長）	
常陸太田・水府地区	金砂郷・里美地区
宇野 隆子（文教民生委員） 高木 将（文教民生委員） 成井小太郎（産業建設副委員長） 深谷 秀峰（総務委員） 深谷 涉（総務委員長） 石川 晶大（産業建設委員）	益子 慎哉（産業建設委員） 平山 晶邦（総務委員） 森山 一政（産業建設委員長） 鴨志田 悟（総務副委員長） 片根 志雄（文教民生委員） 郡司 哲也（総務委員）

## 3. 参加者数 90名

（常陸太田地区31名・金砂郷地区20名・水府地区19名、・里美地区20名）

## 4. 概要（総括）

広報委員長の進行により、出席議員の紹介、議長あいさつのあと、議会報告及び意見交換会を行った。

意見交換会では「環境にやさしいまちづくり ～ごみ減量化に向けて～」をテーマに資料に基づき説明（文教民生委員長）を行ったあと、2班に分かれて参加者と意見交換を行った。

その後、各班から出された主な意見の発表を行い、今後の議会活動の議論・政策形成につなげていくこととし、広報委員長が閉会に際しお礼を述べ終了した。

## 5. 意見交換の内容

意見交換会 テーマ 「環境にやさしいまちづくり～ごみ減量化に向けて～」

### 【意見要約】(抜粋)

#### ■ごみを減らすために家庭や地域でしていること

- ・買い物をする際、割り箸をもらわずに家にある箸を使用したり、有料のレジ袋はもらわずにマイバックを持参するなど、家に持ち帰るものを少なくするよう意識している。
- ・生ごみは水分をしっかりと切って捨てている。
- ・ペットボトルとか缶など、リサイクルできるものは設置されている場所に持って行く。なるべく消費できる分しか買い物をしない。
- ・自分の職場（水戸市）では、プラスチックの分別を行っている。例えば、容器についているプラスチックも外している。
- ・生ごみ減量化機器を使用するとき綺麗な肥料にはなるが、肉片や魚片が入っていると畑の肥料したときに野生動物が来てしまう。

#### ■分別などで困っていること

- ・ほとんど分別はされているが、物によっては迷うものもある。回収業者も置いて行ってしまう時もある。結局は、当番の人が持ち帰って町に持って行くなどしている。
- ・市役所（支所）に食用油を持っていくとリサイクルになる。広報はされているが、知らない人が多い。また何に入れて持って行けばいいのか併せて周知してほしい。
- ・「その他の金属類」の判別が難しい。例えばプラスチックとちょっとした金具が付いたようなものは「その他の金属類」でよいのか、分解してそれぞれに捨てなければいけないのかの判断が難しいため、そこが明確になるとよい。
- ・集積所に置くバケツやかごの種類をこれ以上増やされると集積所の収納庫に格納できなくなる。

#### ■生ごみ処理容器（コンポスト）、生ごみ減量化機器について

- ・生ごみ処理容器は堆肥化されるまで時間がかかるため、生ごみの臭気に誘われてイノシシやアナグマにいたずらされる。
- ・使用していたが何かと手間が多く、衛生面を考えてやめてしまった。
- ・コンポストや生ごみ処理機を使用する際に、補助材が売っているところが分からない。
- ・コンポスト等の利用促進及び助成金のPRが弱いのではないか。
- ・コンポスト購入の補助金が出ることを知らない人もいるのもっと周知が必要。広報には出ているが中を読まない人もいる。また、コンポストを買っても処理期間や促進材が必要とか説明も必要だと思うので広報にイラスト（漫画）的に描いてほしい。

## ■あつたら良い取り組み等

- ・スーパーに資源ごみを出すとポイントがもらえるため、市でも資源ごみを出した際はポイント付与するなどの優遇策を検討してはどうか。
- ・家庭でできた堆肥を引き取ってくれるような仕組みづくりができるとういのではないか。
- ・市からの通知を郵送ではなくメールにすれば、封筒のごみも減るし郵便料も削減できるのではないか。
- ・学校で子どもが使用する制服や体操服等のお譲り会が開催できるとよい。
- ・燃やすごみの日に資源ごみを捨てる方や他の地域の方がごみを捨てていることがあるため、ごみ袋に名前を書いてはどうか。
- ・ごみ袋を有料化した当初は、ごみの量が減った。ごみを出すのをみんな控えて頑張っていたが、だんだんと慣れてきてみんな出している。ごみ袋を値上げしてもいいのではないか。
- ・各地区毎に生ごみ処理容器・生ごみ減量化機器を導入し、まとめて処理をしてはどうか。
- ・町会でごみ分別に関する勉強会を行えば、ごみ分別に対する意識も高まる。市は勉強会の開催に補助を出してはどうか。
- ・集積所のバケツやかごを格納する収納庫が経年劣化し、町会で補修を行っている。資材も高騰しているため、助成金があると嬉しい。
- ・分別するのにポリタンクやネット等を配るが保管場所はどのようにするのか。保管場所まで含めて市でやってほしい。
- ・夏はペットボトルの量が多いため、夏はペットボトルの回収を月2回にするなど、季節によって回収の頻度を変更してはどうか。
- ・食用油を市役所や支所まで持って行けない人もいるので、集積所に油という24番目の枠を作ってほしい。
- ・分別早見表の改定が必要ではないか。
- ・市はリサイクルでいくらの収入になっているのか。ごみの量的なものを減らそう、分別をすれば資源になるというのを、もっと見える形で…市が何を求めているのか、こういう効果がありました等、市民にきめ細かく発信してほしい。資源になるのであれば、本年度の目標金額はここまでと市で示してくれれば市に協力しようとなるのではないか。
- ・以前は、廃品回収を市に持って行くと補助金がいくらとかって子供会費がついた。例えば老人会でやったら老人会の資金が出るように制度を変えたらどうか。
- ・7月にあるごみ拾いの時期を変更してほしい。草が生えていて見つからないので、草が少ない時期（秋口から冬）にやらないと見逃しが出る。

## ■その他

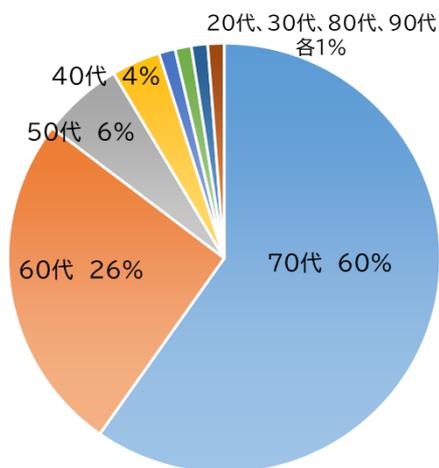
- ・市の65歳以上の1人単身世帯が1,865世帯。あと10年もすれば、空き家問題で人口は減ってもごみが増えるようになる。

## 6. 意見交換の様子

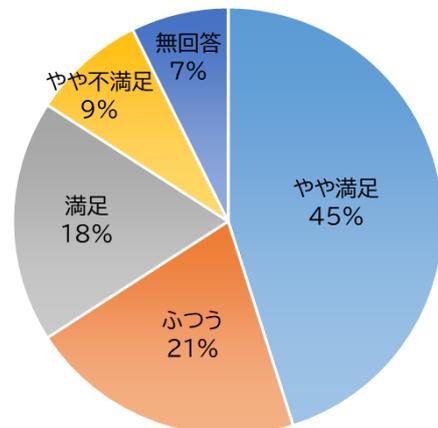


## 7. 参加者アンケート集計結果

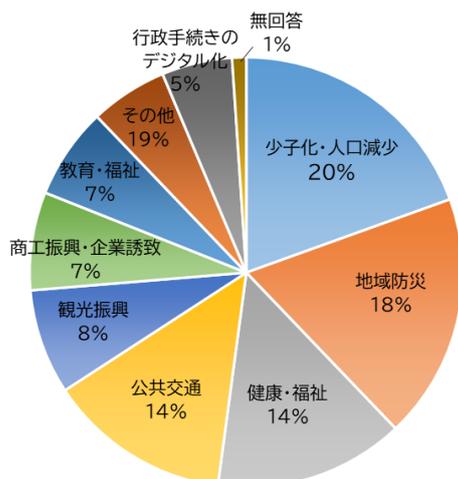
### ① 参加者の年代



### ② 今回の議会報告意見交換会について



### ③ 関心があるテーマ



### ④ ご意見等（抜粋）

- 今後もこのような意見交換会は必要であると考えます。市民もキラリと光る意見を持っているのでこのような場は良いと思います。
- 初めてでしたが、いろいろな意見が聞けて有意義でした。
- 意見交換会をもっと多くの市民にも参加してほしいと思いました。一人一人の取り組みが大きな取り組みに変わると常陸太田市も良くなると思います。
- 資源ごみについて、生ごみの減費について、他の人の意見が聞けてよかった。広報が必要（ごみ処理、用器購入、資源ごみの分別）ではないか。お知らせの仕方に工夫を。